



ヨゼフ アベイヤ司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行人 浦川 務
カトリック福岡司教区
編集人 浦川 務
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 1部70円

10月の意向

教皇の意向のために祈りましょう
【教皇の意向】さまざまな宗教的伝統間の協力
【日本の教会】被造物、すべてのいのち、自然環境

2025年10月19日 世界宣教の日にあたって
「日本の教会の歩みは宣教の歩み」

福岡教区長 ヨゼフ・アベイヤ司教



祭壇を囲む青年たち（クラレチアン宣教会広報誌より）

皇フランシスコが残されたものです。キリスト者の一人ひとりに、また、教会共同体に「諸民族の中で生きる希望の宣教師」になるように呼び掛けているメッセージです。皆さんに読んでいただきたいと思ひます。福岡教区の宣教養成委員会は、そのために四つの小さなパンフレットを準備していただきました。大いに利用して下さるようお願いいたします。

日本の教会の歩みを振り返りますと、それは「宣教の歩み」であると分かります。日本に福音を最初に宣べ伝えた宣教師たちは勇気のある人々でした。福音を伝えたいという情熱の火は、彼らの心のうちに燃えていたのです。彼らの証や働きによって、信仰は多くの人々の心に染み込ん

今年も福音宣教の月間を迎えました。「全世界に行つて福音を伝えなさい」というイエスのことばを思い起こしながら、この派遣に應える道を探り、歩む決意を新たにします。聖年のテーマである「希望の巡礼者」の中に今年の福音宣教月間が位置づけられています。今年の教皇メッセー

また、明治時代に來られた宣教師たちも、大事な模範を示してくださいました。当時は、今より簡単なときではなかったのです。キリスト教に対する迫害はまだしばらく続いていたし、宣教師たち

福岡教区 豪雨被害

今般、災害が激甚化・頻発化し、各地で甚大な被害が発生している。2025年8月6日からの低気圧と前線により日本各地で記録的な大雨が発生し、広範囲にわたって人的被害や住家被害が見られ、特に九州地方で深刻な状況が報告された。

8月12日までの総降水量は、熊本県や福岡県で600ミリを超え、平年の3倍以上となった。交通機関（道路や鉄道・バス・飛行機など）や物流にも影響が出て運休や遅延が発生した。また、避難所には多くの人々が避難している状況が続き、断水や停電などライフラインにも深刻な影響が出ている。

福岡教区では、熊本地区の島崎教会の1階や信徒会館が1メートル近く浸水し、熊本地区の信徒宅も多数浸水被害にみまわれた。



50センチ浸水した八代教会信徒宅



島崎教会・水に浸かったエアコンの室外機

2025年8月11日（山の日祝日）、大名町教会にて「平和を祈る集い」戦後80年、平和への誓いを新たに」が開催される予定であった。しかし、前日から九州北部を襲った豪雨により熊本や福岡に被害が発生したため、安全を考慮して集いはやむなく中止と



雨天の中、展示会に足を運んだ人々

カトリック平和旬間賛同企画
福岡教区主催「平和を祈る集い」

現代の状況は違いますが、福音宣教の根本的な課題は同じです。本場に福音を伝えたいか。この望みが深いものなら道が開かれます。時には祈りを通して宣教活動を支えます。時には活動も加えます。

いつも福音に根差した生き方を通して、主イエスがもたらした光を灯します。自分の弱さがありますが、神に対する信頼や人々に対する愛があれば、イエスの派遣に應えることができます。

集いでは、2024年にノーベル平和賞を受賞した日本原水爆被害者団体協議会（略称・日本被団協）の中村国利氏（九州ブロック代表理事）による講演や、高校生平和大使による講演および平和大使と教区5地区の高校生によるパネルディスカッション、青年会による子どもたちを対象とした分科会「Pray with you」とともに祈る」が企画され、戦争の記憶と平和への願いを新

8月17日には、アベイヤ司教主司式による平和祈願ミサ（インターナショナルミサ）が捧げられ、約300人が参加した。福音朗読では、イエス様が盲人バルティマイに「何をしてほしいのか」と問いかける場面（マルコ10・46-52）が読み上げられた。司教は「もし本当に心の底から平和を祈れば、神様は祈る人を「平和を創り出す人」にしてくださる」と語った。

※3面に各地区の平和行事報告を掲載
※展示会の様子は、下記QRコードよりご覧ください。



平和祈願ミサで被爆マリア像（右）について語る司教

身近なところから行動を起こし、平和への願いを作品に込めて寄せてくださった方々、そして、80年前の事実と教訓を次の世代へ伝えようと取り組む方々が年齢を問わず数多くいることが実感できた。一人ひとりの小さな思いと行動が、大きな平和への力となることを心から祈っている。平和を祈る集い準備委員会 小川 千晶（高宮教会）

空が高くなる10月です。世間では「天高く馬肥ゆる秋」と言いますが、私たちキリスト者にとって10月は「ロザリオの月」です。▼ロザリオの祈りはラテン語のバラの花束（ロザリウム）に由来すると言われていいます。ローマの迫害の時代、コロセウムに連れていかれる殉教者たちは神に自分をささげる意味でバラの冠を被りました。信者たちが夜中に殉教者の遺体を収めながら落ちたバラを拾い集めました。このバラ1本ずつに祈りを捧げたそうです。また、砂漠の修道士たちは、詩編の祈りのため石ころや種を丸く結びました。字がわからない人は詩編の祈りの代わりに主の祈りを唱えたという話もあります。▼12世紀になって聖母マリアに対する信仰が深まり、主の祈りの代わりにアヴェ・マリアの祈りを唱えることもありました。これを「聖母の詩編」と言います。13世紀にはこの祈りの後に栄唱を唱え始めました。本格的にロザリオの祈りが定着したのは聖ドミニコによってです。教会を脅かす勢力の登場に対して地方を巡り、信徒たちにロザリオの祈りを捧げることを促しました。これに応じた信徒たちはロザリオの祈りに専念し、その結果教会を脅かす勢力は去りました。ロザリオの祈りが今日のような形をとったのは15世紀のドミニコ会の修道士によってです。この時からイエス様の生涯を黙想し祈りを捧げることになりました。▼聖母マリアへの祈りは初代教会から伝わってきた大事な祈りです。10月、イエス様の生涯を黙想しながらマリア様と共にロザリオの祈りを捧げましょう。（J）

時の話題

ラウダート・シ 10周年

前教皇フランシスコが回勅「ラウダート・シ」を発表した2015年の春、私は初めての子どもを出産し、慣れない育児に追われながらも小さな命を愛おしく思い、この子たちの未来が幸せであるように祈りながら過ごしていました。その年の9月、大雨により茨城県の鬼怒川の堤防が決壊し、大きな被害が出ました。今まで見たことのない光景にとてもショックを受けました。

回勅を手にとったのです。それは、キリストに倣って生きる私たちはどのようにこの問題を捉え行動していけばよいのか、フランシスコ教皇からの愛に溢れた力強いメッセージでした。「もっと早く読んでいれば違った10年を過ごせたのでは」と残念に思う気持ちもありましたが、今だからこそ読み進められた、今がそのタイミングであったのかなと聖霊の働きを感じています。頂いたこの恵みの時を大切に、感謝のうちに準備を進めたいと思います。

菊池教会 岩根のぞみ



7月22日開催
第2回 教区司祭評議会

【報告・検討事項】

①各地区、委員会の報告の後、100周年準備担当者により、これまでの準備状況並びにこれから取り組むことについて報告がなされた。

②2024年度教区決算について経済問題評議会委員、及び教区会計より説明があった。福岡教区は、様々な見直し、経済基盤の小さい教会の支援のため、司祭の給与等を教区会計より支給し、小教区分担金を15%より30%に引き上げ、また新たな事業として「ぶどうの樹」(大名町教会1階併設)の運営、小教区預かり金の運用等を行う。

2024年度決算において問題はなかった。今後、高齢化と信徒の減少により維持費の減少が進行するため、資産の運用が必須のものとなる。そのため協力が必要とされた。

③9月30日予定の司祭集会について、講師の紹介とプログラムの説明がなされた。

④「福岡カリタス」の立ち上げについて、現在、自然災害時の対応や困窮者への支援については、教区災害支援室及び美野島司牧センターが担当しているが、今後の災害や子ども食堂など様々な支援活動、そしてグローバルなカリタスとの繋がりをより円滑に、かつ有機的に行うためには「福岡カリタス」を立ち上げ、運営していくことが望ましいとの提案がなされた。

⑤司教館周辺の土地活用について、賃貸或いは売却の可能性とその益金の運用について意見が求められた。なお、その他の教区内の土地の有効活用についても言及された。

福岡教区修道女連盟 解散

福岡教区修道女連盟は、教区長の指導のもとに神の民としての自覚を持って教会に奉仕し霊的向上を図るとともに、福音宣教の実践を目的として1971年6月21日に発足しました。各修道会の創立者のカリスマによる福音宣教への派遣、そして福岡教区に呼ばれた修道女会会員相互の連携を図りながら、教会に奉仕し、神学生を支えてきました。

以来、会員同士の連携と協力の中に神の国の実現のために歩み続けてきましたが、修道女の高齢化、召命の減少を考慮して、2021年に今後の福岡教区修道女連盟の存続について各修道会にアンケートを行いました。その結果、継続は困難という意見を参考にしながらも役員で識別して継続を選択しました。しかしながら今年(2025年)の役員交代の時期に当たり、会員の高齢化と会員数の減少のために、役員交代が困難という現実を受け止め、役員で話し合いを重ねて識別した結果、2025年5月をもって解散する道を選びました。

道信
THESAOROM FIDEL
ヨーロッパが見た恵みの島
AMACUSA (天草)

天正遣欧少年使節団(※QRコード参照)がヨーロッパへ派遣され、1585年にローマ教皇に謁見してから440年。これを記念し、天草キリシタン館(熊本県天草市船之尾町)でパネル展「ヨーロッパが見た恵みの島、AMACUSA」が開催されている。

ここでは、イタリア・ルッカ地区で開催された展覧会「THESAURUM FIDELI (テサウルム・フィデリ) (treasure of faith: 信仰の宝)」の展示物の中から、キリスト教宣教師の布教活動や潜伏キリシタン関連の300年にわたる史料が中心に紹介されている。



ジュリエッティ大司教主司式ミサ

パネル展の実行委員長である高浜寛さん(漫画家・手取教会所属)は今回の企画にあたり、「仕

思った。今回、天草市や民間の協力者に働きかけて巡礼団の訪問が実現したことは、今後世界中から日本を訪れる巡

計報

パウロ 栗本 昭夫 神父
(イエズス会)



7月17日、老衰のため、東京のロヨラハウスで帰天。享年98。イエズス会生活74年。

1927年2月12日広島県生まれ。1951年3月イエズス会入会。1962年3月司祭叙階。叙階後は六甲中学・高等学校で化学を教え、同学校長、六甲学院理事、イエズス会日本管区長、泰星学園(現福岡上智学院)理事長を歴任。1988年から1年間は浄水

礼旅行者のための重要な最初の一步になったと思う」と語る。

9月8日には、ジュリエッティ大司教を団長とする巡礼団が訪れ、大江教会でミサが捧げられた。ミサ曲は全てグレゴリオ聖歌で歌われるなど荘厳な雰囲気の中、大江教会の信徒をはじめ、司祭・修道者他、崎津・本渡、手取や島崎、健軍、帯山など近隣の教会信徒合わせて25人が参加した。

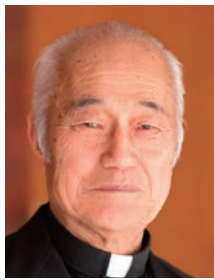
ジュリエッティ大司教は「天草での滞在は友情とキリスト教的兄弟愛の素晴らしい体験になった。16、17世紀に日本を訪れた宣教師たちや天正遣欧少年使節団、潜伏キリシタンの足跡を辿りながら、我々は村落で、都市部で、教区で、そして寺院でさえ、温かなコミュニティに出会う事ができた。栄光の歴史のルーツの上に、今後力強い成果を数多く生み出すための、強固で新しい友好関係を築くことができたいと思う」と感想を述べた。

※パネル展の詳細は下記QRコードよりご確認ください。

通教会の主任となり、その間泰星中学・高等学校でも化学を教えた。

1989年からは聖イグナチオ教会やSJハウスで司牧生活を送り、2021年からロヨラハウスで静養していた。

レオナルド 乾 盛夫 神父
(オペレイト会)



8月7日、肺炎のため、徳島県鳴門市の病院で帰天。享年90。オペレイト会員66年。

1935年2月15日生まれ。1958年8月14日初誓願。1964年6月司祭叙階。1966年より1974年古賀教会主任を務め、のち1976年まで光丘教会主任を務める。この間2003年まで、暁の星幼稚園(福岡教区)でも勤務。その後は大阪・高松大司教区の鳴門教会・鳴門幼稚園、阿南教会・阿南幼稚園、高知幼稚園、安芸幼稚園などで2011年まで勤務をした。

トノリ・アンジェラ氏

クラウディオ・コデノッティ神父(荒尾・玉名教会主任、聖ペリオ宣教会のご母堂。8月1日に帰天。享年91。

マキシミアノ・マリア・コルベ
荒川 譲二 神学生
(サレジオ会・浄水通教会出身)

8月3日、肝細胞癌のため、東京の聖ヨハネ会桜町病院で帰天。享年33。誓願生活6年。

マリア 熊谷 サツエ 修道女
(ジョフィエの幼きイエズス修道会)

9月14日、肺炎のため帰天。享年94。誓願生活70年11ヶ月。

サンパウロ 福岡宣教センター

営業時間: 10:00~18:00
定休日: 日曜日・祝日

〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26
tel. 092-721-2032 / fax. 092-739-3930
E-mail: fukuoka@sanpaolo.or.jp

不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください

(株)ジャパン・スマイルか

代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044 福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

総合建築業

- 一般住宅 (新築・改築工事)
- 鉄骨工事
- RC工事

建築の事なら何でもお気軽にご相談ください

有限会社 森山工務店

ヨゼフ 森山新太郎

福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎ (092) 811-7265

カトリックの教会葬
共に祈り・共に送る

株式会社
みこころ舎

問合せ
050-3032-1333

★ 夏の思い出 ★ 全文や動画・写真は右記QRコードからご覧いただけます。

福岡地区 「かみさまの愛って、なんだろう？—聖書とともに過ごす夏—」
今年の夏、福岡地区8教会から55人が集まり、「かみさまの愛ってなんだろう？」をテーマに合同キャンプを開催した。聖書を聞いてイエス様の言葉に触れ、神様の愛について考える時間を持った。すいか割り、水遊び、花火、テゼの祈りなど、盛りだくさんのプログラムを通して、子どもたちは今まで以上に教会を身近に感じ、仲間との絆を深めている様子であった。アンケートでは9割以上が「楽しかった」「来年も参加したい」と回答。保護者やリーダーの協力にも感謝しつつ、来年はさらに子どもたちの声を反映した、楽しく心に残るキャンプを目指したいと思う。
光丘教会 薬真寺健臣



考えた平和を絵にまとめる子どもたち

北九州地区 「教会合同子どもレクリエーション」
北九州の筑豊地区を中心とした、直方、飯塚、水巻、田川、新田原教会の子どもや家族、若者が100人以上集まり、旧小学校のプールを貸し切って水遊び。教会に戻っては神父様のお話と各自自己紹介、スイカ割り、夕食、河川敷で花火を楽しんだ。教会の垣根を超えて一緒に、子どもたちの大きな歓声、みんなの汗、友だちの輪が広がっていった。また世話をしてくれる若者たちの活躍、食事の世話をしてくれた方々にも感謝である。
子どもたちの集まりが年々減少し教会の活気が薄れていく中、合同で集まりを持つことにより教会にとって将来の希望が開けることを、この日の子どもたちの顔を見ていて実感した。新田原の方からは「豊前地区でもこのような交流事業を計画できたら」との話もあり、今後は北九州地区で子どもたちが参加する交流会や支援するグループを立ち上げていきたいと思っている。
直方教会信徒



仲良く楽しんだキャンプを笑顔で締めくくる

佐賀地区 『希望の巡礼者』として
夏休みが始まった7月21日（月・海の日）、佐賀地区宣教司牧評議会主催のデイキャンプが伊万里カトリック幼稚園、伊万里教会にて開催され、小中高生と保護者、引率者を参加対象として、佐賀県内各小教区からスタッフも含めて67人が参加した。
一同は体を使ったゲームを楽しんで親睦を深めた後、李韓雄神父（鹿島・武雄教会）から今年の聖年と賛歌『希望の巡礼者』、そしてロザリオの祈りについて解説を受けた。続いてロザリオ製作に取り組み、少人数のグループに分かれて試行錯誤しながら一連のロザリオを作り上げていった。
昼食後は聖堂に移動してテゼの祈りを体験、ギター演奏と聖歌による落ち着いた雰囲気の中で、共に祈ることができた。参加者たちは自ら作ったロザリオを嬉しそうに持ち帰り、夏の貴重な経験となった。
伊万里教会 吉浦 健次



全身を使ってゲームを楽しむ参加者たち

7月24日、山鹿教会において菊池教会と合同で「世界の平和のために、戦争と核兵器に反対する」意向でミサが捧げられ、私は世界の指導者には子どもたちのために力を注いでもらいたいと祈った。それはミサの前日に「飢餓死者続出、ガザ受難」の新聞一面トップの大見出しを見たからである。「食料を求め殺到した住民にイスラエルが発砲し、連日のように死傷者が出て千人を超えた」という記事もあった。食べるものが「無い」ということがどんなに苦しく辛いことか、「餓死」がどんなに悲惨であるか。80年前、私もシベリア抑留生活時代に体験してきた

このたび、1956年の聖堂建設以来69年ぶりに、5ヶ月間の改修工事が終わり、8月24日アベイヤ司教の司式で、信徒と工事関係者70人余りが参加し、祝別と感謝のミサを行った。その後の信徒会館での会食では、「きれいなお御堂になった」「安心した」等の信徒の喜びの声が聞かれた。
今回の改修は信徒の安全を考慮して耐震工事に重点をおき、窓枠とガラスの全面取り替え、外壁塗装、電気配線の整理（照明はLEDに）、床下白蟻侵蝕部分の補修等大がかりとなった。窓ガラスは人吉球磨の川と山並をイメージしたステンドグラスで、グラデーションの光が差し込む美しい聖堂となった。改修に当たり司教区とマッケイ神父様の物心両面のご尽力に感謝をしたい。又、長年補修費積立てをしてきた信徒にとって大きな喜びとなった。そして酷暑の中作業に携わって下さった工事関係者の方々にも感謝をしたい。
これからも神との出会いと祈りの場の聖堂を大切に守っていききたいと思う。
高宮 孝子



新聖堂で感謝のミサを捧げる信徒たち

ド・ロさま
株式会社サンフリード ド・ロさま麺工場
長崎市西出津町2528-1
TEL(0959)23-0610
FAX(0959)23-0611
右記URLからご注文できます

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422
TEL.0942(35)3322 FAX.0942(34)3115
聖マリアヘルスケアセンター
〒830-0047 福岡県久留米市津福本町448番5
TEL.0942(35)5522 FAX.0942(34)3306
信仰や理念を共有できる医師、看護師の皆さん
と一緒に働いてみませんか
URL: http://www.st-mary-med.or.jp/

「読みま専科」は休載します。

★ 平和を祈る ★
今年もカトリック平和旬間には、各地で平和について考え、平和への祈りが捧げられた。（全文や動画・写真は下記QRコードからご覧ください）

福岡地区

【古賀教会】
7月19日〜20日、「平和」をテーマに教会学校サマーキャンプを実施。

【高宮教会】
8月10日平和祈願ミサを捧げた。

【大名町教会】
教区主催「平和を祈る集い」の開催に合わせ、平和のメッセージカードを募集して掲示。8月11日（月）当日には「平和を祈る集い」のために大名町教会へ来場する他教会の方々にも呼びかけ、平和への思いを結集し盛り上げた。

【茶山教会】
・8月10日平和祈願ミサを捧げた。
・教区主催「平和を祈る集い」

いへ短歌、俳句、川柳を応募。
【糸島教会】
8月3日ミサ後「平和の集い」を開催した。（今年で13回目）
①教皇の平和メッセージを読む。
②体験者の話を聞く。
今年で90歳になるK氏が、当時の生活や実際に空襲を受けたときのことなどを具体的に話した。
③教区「平和を祈る集い」に出品する「平和の祈り」を皆で作成した。

北九州地区

【北九州地区宣教養成委員会主催・聖書講座】
カトリック平和旬間、「平和を祈る集い」の一環として、北九州地区では8月9日、小倉教会にて聖書講座を開いた。



信仰を深める参加者たち

ら8グループに分かれて40分間、分かち合った。お互いに話し、聴き合うことで、新たな気づきが与えられ、これからは、主と共に、生活の中で平和をつくり出す者となれるよう願ってやまない。
黒崎教会 鬼塚賀津子

筑後地区

【久留米ピース9の会企画・筑後地区宣教司牧評議会共催】
8月17日久留米教会にて、平和旬間の講演会を開催し、「前教皇フランシスコの回勅『わたしたちを愛された』」みた。



自作の歌を披露する中井神父

ここから溢れ出る平和活動」というテーマで中井淳神父様（イエズス会）に講演いただいた。出向いていく子ども食堂、在日や難民移住者たちとの関わりなどの様々な活動体験を交えながら、教皇様のメッセージを解説された。
久留米教会は「イエスのみこころ」に捧げられた教会である。みこころの溢れる愛を受け入れ、周りの人たちに伝えていくことが真の平和に繋がることに改めて気づかされた。最後には、ギター演奏による自作の歌も披露され、聖霊の働きを感じる歌声に癒された。80人ほどの参加があり、教会のみなさんと平和について学び、考えることができたことに感謝の気持ちでいっぱいになった。

久留米教会 森 智子

熊本地区

【山鹿・菊池教会】
7月24日、山鹿教会において菊池教会と合同で「世界の平和のために、戦争と核兵器に反対する」意向でミサが捧げられ、私は世界の指導者には子どもたちのために力を注いでもらいたいと祈った。それはミサの前日に「飢餓死者続出、ガザ受難」の新聞一面トップの大見出しを見たからである。「食料を求め殺到した住民にイスラエルが発砲し、連日のように死傷者が出て千人を超えた」という記事もあった。食べるものが「無い」ということがどんなに苦しく辛いことか、「餓死」がどんなに悲惨であるか。80年前、私もシベリア抑留生活時代に体験してきた

だけに痛ましい状況である。平和とは何か。勿論、戦争（殺し合い）が無いことが一番であるが、私は「子どもたちが何の心配もなく、安心して食事が出来ること」と思っている。戦争をしないために、首脳同士が互いに手を握り平和を確かめ合って欲しい。神は善い人にも、悪い人にも恵みの雨を降らせてくださる。私たちは神の子どもとして些細なことでもよいから、世界の平和のために行動したいものである。

山鹿教会 福島 隆

若松天使園 光丘幼稚園 新園舎完成
今夏、北九州市の若松天使園と福岡市の光丘幼稚園に新しい園舎が完成した。
7月19日には若松天使園、8月29日に光丘幼稚園で、それぞれヨゼフ・アベイヤ司教による祝別式が執り行われ、園内は子どもたちの歓声と笑顔で満たされた。
※その他の画像は下記QRコードからご覧いただけます。
▼若松天使園 外観
▲光丘幼稚園 外観



▲光丘幼稚園 外観



年間目標

互いに支え合う
交わりの教会となる

案内板

会合と催し

10月のこよみ

福岡教区の殉教者を偲んで

ディエゴ加賀山隼人殉教記念ミサ

[日 時] 10月12日(日) 15時～

[場 所] カトリック小倉教会

[ミ サ] 主司式 ヨゼフ・アペイヤ司教(福岡教区長)

[問合せ先] ☎093・921・0093 (小倉教会)

不動山殉教者祈念ミサ

[日 時] 10月19日(日) 14時～

[場 所] 不動ふれあい体育館

(佐賀県嬉野市嬉野町不動山甲 1326)

[ミ サ] 主司式 ヨゼフ・アペイヤ司教(福岡教区長)

[問合せ先] ☎0952・23・4754 (佐賀教会)

八代殉教祭ミサ

[日 時] 11月2日(日) 14時～

[場 所] カトリック八代教会

[ミ サ] 主司式 H.オカロール神父(八代教会主任)

[問合せ先] ☎0965・32・4065 (八代教会)

うすねぎり殉教ミサ

[日 時] 11月3日(月) 12時～

[場 所] 熊本県阿蘇郡南小国町満願寺

(白内切り)

[ミ サ] 主司式 H.オカロール神父(八代教会主任)

[問合せ先] ☎0965・32・4065 (八代教会)

典礼聖歌研修会

[日 時] 10月26日(日) 14時～16時

[場 所] カトリック笹丘教会

[内 容] 「詩編歌唱」

[講 師] 深堀純氏(大名町教会)

[参加費] 感謝献金

[問合せ先] ☎092・541・3730 (松山)

※典礼聖歌集をご持参ください。

福岡教区和田墓地一般清掃

年々参加者が少なくなっております。皆さまのご協力のほどよろしくお願いいたします。

[日 時] 10月26日(日) 9時～

※雨天順延 11月2日

[ミ サ] (清掃後) 11時頃～

[場 所] 福岡教区和田墓地(福岡市南区和田4-15)

[問合せ先] ☎080・2771・6544

(同納墓地骨堂委員会)

自死された方々のためにささげる追悼ミサ

【主催：福岡教区認証 福岡ゆりの会(協力・長崎ゆりの会)】

身近な人を自死で失った方、一人で重荷を負われている方、ぜひご参加ください。ともに祈りを捧げましょう。

[日 時] 11月1日(土) 14時～

[場 所] カトリック大楠教会

[司 式] 青木悟神父(小倉教会主任)

[問合せ先] ☎090・8410・8927 (叶堂)

※当日参列できない方も意向や共同祈願をお受けしますのご遠慮なくお問い合わせください。

— 召命を共に祈る会 —

福岡地区 10月21日(火) 13時30分～ 大名町教会

[ミサと分かち合い]

司式：O.ベルナルド神父(古賀教会主任)

[問合せ先] ☎090・6422・2257 (山口)

北九州地区 10月11日(土) 14時～ 小倉教会

[ミサと茶話会]

司式：ジョン・ウォンチョル神父(戸畑・若松教会主任)

[問合せ先] ☎0949・24・9905 (藤井)

熊本地区 10月16日(木) 9時30分～ 健軍教会

[ミサと分かち合い]

司式：中村信哉神父(健軍教会主任)

[問合せ先] ☎096・369・8896 (松上)

— 各種団体の定例会 —

詳細につきましては、福岡教区ホームページ「教区報10月号」、または右記QRコードからご確認ください。

福岡教区広報室アドレス
https://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com福岡教区創立 100 周年に向けて
かつどう・できごと掲示板

「シノドス的」な教会の歩みを推し進めましょう！

2027年7月16日まで

あと21ヶ月

スタンプを押した
大江教会のページ100周年に向けて具体的な準備活動が始まっています。記念グッズの作成・頒布も決定しました。順次お知らせします！
— 8つの巡礼指定教会 —その6. カトリック大江教会
天草は福者アダム荒川殉教の地です。
毎年6月に3教会(本渡・大江・崎津)合同で殉教記念ミサを捧げます。

真命山諸宗教対話センター - 祈りの集い -

年間テーマ：聖性への招き

日 時：10月9日(木) 10時～15時

内 容：「希望」と福音宣教
世界に希望を届ける、教会の使命

次 回：11月13日(木)

内 容：「希望」と神の国 神の国の到来を待ち望む

※2025年から、指導はチームで行われます。

問合わせ先：真命山諸宗教対話センター

☎0968・85・3100 FAX 0968・85・3186

熊本県玉名郡和水町蜻浦1391-7

E-mail shinmeizan@gmail.com

☆個人またはグループでの黙想会、研修会も歓迎いたします(要予約)

集いの詳細は、
各問合せ先に
お尋ねください。

■美野島司牧センター

ホームレスの方に温かい食

事と衣類 毎週火曜日10時

○ホームレス支援炊き出し

第2・第4金曜日

調理14時 夜回り21時

路上からアパートに入り居し

た方を訪問 第3土曜日14時

[問合せ先] ☎092・4331

1419 ジョンソン・デソー

ザ神父

■大濠カトリック会館・宣教

養成センター

○ミニアサロン大濠

第1・第3水曜日10時

[問合せ先] ☎092・753

6765角田

○みことばのお弁当

第4木曜日10時

[問合せ先] ☎092・753

6765大濠カトリック会館

■宣教養成委員会「黙想と

祈りの集い「テゼの歌と共に

ろうそくを見つめ、短い歌

を繰り返して、静かに黙想する

時間を過ごしませんか？

[日時] 10月30日(木) 19時半

約1時間(場所) 大名町教

会小聖堂(問合せ先) ☎08

0・3227・8295(杣)

福岡教区人事異動

◆船津 亮太師(ローマ留学)

光丘教会主任(9月1日付け)

編集後記

コロナ禍も挟み10年以上ぶりに、所属教会である大名町教会が計画した巡礼旅行に参加しました。「未来に開かれた教会となる」のテーマにも合わせて英語とベトナム語の外国語ミサグループからも嬉しい参加があり、総勢89人の大所帯。大型バス2台での移動でしたが、祝日にもかかわらず、巡礼先の八代・島崎両教会で

は、多くの信徒さんたちが迎えてくださり、手作りのお菓子や、普段は靴を脱ぐところを「土足でどうぞ」などありがたいてなしを受けました。巡礼教会は、福岡教区内の殉教者にゆかりのある教会が指定(工事や駐車場の関係で外れた教会もあり)されています。各々の教会共同体の皆さまは、殉教者の証に誇りをもって信仰の道を歩んでいることが強く伝わってきました。し、外国の方たちも熱心に話に耳を傾けるなど良き学びのときともなりました。いくつかの教会からも「巡礼旅行を計画しています」と広報に連絡が入っています。行楽の秋、そして学問の秋。「希望の巡礼」の旅に出かけませんか。(W)

どこにいても神の導きに従い、神の愛を伝えていく

セナシラジャ・ドミニカ(スリランカ)

私はスリランカで生まれ育ち、現在は福岡市のカトリック教会に通っている。名前の「ドミニカ」は、8月8日・聖ドミニコの記念日に生まれたことに由来し、幼い頃から神とのつながりを意識するきっかけとなった。

スリランカにカトリックが伝来したのは16世紀、ポルトガルの侵略時代である。宣教師たちの活動により各地に教会が建てられ、信仰が根付き、現在では約120万人がカトリック信者となっている。

私の家族もその流れの中で信仰を受け継いでおり、特に母方の祖父は教会活動に熱心だった。祖父はレジオ・マリエなどの奉仕活動に参加し、祈りと奉仕を通してカトリックの精神を私に教えてくれた。祈りの大切さ、共同体の絆、神への信頼を行動で示してくれた祖父の姿に感銘を受け、私は教会に通うようになった。

祖父は私が日本に来る10年前に他界したが、彼の励ましは今も心に生きている。祖父は「信仰は生き方である」と明言したことはなかったが、祈ることや貧しい人々への奉仕の大切さを教えてくれた。その導きにより、私は宗教活動に積極的に参加するようになった。過ちを重ねた人生の中で、神はいつも赦しと導きを与えてくださった。その慈しみに感謝し、今後も神の御業に尽くしたいと願っている。

スリランカでは、信仰は日常生活の中心にあり、家族で祈ることが習慣となっている。祭日には村人が教会に集い、ミサ後に食事を分かち合い、喜びも悲しみも神の前で共有する。典礼では聖体拝領は舌に授けられ、祈りは力強く声に出して唱えられる。ミサはシンハラ語、タミル語、英語で行われ、かつてはラテン語も含まれていた。

一方、日本では静寂と個人の祈りが重んじられ、聖体拝領は手に受ける形式が一般的である。祈りは歌として捧げられ、典礼は穏やかで静かだ。信仰を公に語る機会は少ないが、沈黙の中に深い霊性が息づいている。少人数でも心を込めて祈る姿に感動し、信仰の質の深さを実感している。

最近、私はカタラント青年グループを通じて、津和野の乙女峠(乙女峠マリア聖堂)への巡礼に参加した。殉教者たちの信仰と勇氣に触れ、自身の召命を深く考える時間となった。祈りの中で神の導きと平和を感じ、日本の信仰生活に新たな力を得ることができた。さらに、今年の11月には韓国・仁川への巡礼にも参加予定である。異なる文化の中で信仰を分かち合うことは、神の愛が国境を越えて働いていることを実感する機会でもある。

祖父の励ましを胸に、私は日本の地で福音の光を灯し続けている。神の導きに従い、異なる文化の中でも変わらぬ神の愛を伝えていくこと。それが私の使命であり、喜びでもある。



ドミニカさん(大名町教会の前で)

福岡教区セクハラ対応窓口

セクハラを受けたら、見かけたら、ご相談ください。ひとりで悩まず、早めに相談

セクシュアル・ハラスメント相談窓口

電話 080-2694-4182

受付時間 月～金(祝日を除く)

10:00～12:00 13:00～16:00